

体験して備える

9月1日は「防災の日」

いざというとき常日頃から

自分たちに“できること”を

考え、行動しましょう!!

ハートフル

9月号

2015年

日向市社会福祉協議会

社務だより

大王谷児童館小学生幼児親子対象事業

安全教室（火災避難訓練）



平成27年度

第1回 ふれあい いきいきサロン ボランティア研修会



平成27年7月29日(水)に「第1回ふれあい いきいきサロンボランティア研修会」を実施し、64名の参加をいただきました。

今回の研修会では、サロンボランティアが現在持っている「地域との繋がり」をボランティア自身が再認識し、“繋がりを通じ”主体的に地域福祉活動を行っていくことの大切さを学びました。

「第2回ふれあい いきいきサロンボランティア研修会」は平成28年2月18日(木)に予定しており、平成27年度のサロン活動の振り返りを行います。



サロン帰りに、
ちょっと気になる人の
顔を見に行ったり…♪



ご近所をウォーキング
しながら「気くばり・見
守り」!
まずは正しい歩き方から♪

夏のボランティア体験事業報告

児童サポートボランティア

7月からの夏休み期間中に、日向市社会福祉協議会が運営する市内の児童館、児童クラブ、児童センターを活動の場とし、「児童サポートボランティア」を実施しました。この取り組みはボランティア体験事業として、ボランティアに興味関心のある方、将来教職などを目指している方を対象とし、日向市内の中学から一般までの方に募集を行いました。今年度は例年よりも倍近くの66名の参加があり、児童の夏季課題のサポートや、自由時間のふれあいなど様々な活動をしていただきました。

それぞれが活動に対する明確な目標を持っており、非常に充実した時間となりました。

今後も児童たちとのつながりや、将来への経験としてぜひ児童クラブ、児童センター、児童館にお越しください!!



参加者の感想 ※一部抜粋

- 元気な子どもたちの姿を見て、私も元気をもらえました。
- 今日の活動を振り返って、改めて子どもたちが好きだなと感じました。将来、保育士か小学校の先生で迷っていますが、この活動をとおしても考えていきたいなと思いました。
- 宿題のサポートをしていて、子どもたちが「あー！」と言ってわかってくれた時はとても嬉しかったです。
- 今回の活動をとおして、子どもたちとの接し方や、一緒に遊ぶことの楽しさを知ることができました。また参加したいです。
- 今回の経験を私の将来の夢をかなえるためにも忘れません。本当にありがとうございました。

8月21日(はれ)

ことしのなつは、
たくさんおにいちゃん、
おねえちゃんが出てく
れました。らいねんも
まだきてほしいです。

ラボス



広がってます!!認知症サポーター!!



現在、75歳以上の方の4人に1人が“認知症”と言われている時代の中で、認知症の方やその家族を支援する様々な取り組みが広がっています。

日向市社会福祉協議会では、地域住民、企業など市内各事業所を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しており、講座をとおして認知症への理解を深め、認知症の方やその家族を見守る応援団を育成しています。

日向市には、現在小学生から高齢者まで約4,700名のサポーターがいます。



企業でも〇〇



高校生も〇〇



看護職員さんも…



警察署署員さんも…

認知症サポーターって何をするの??

♡特別なことではなく
『ちょっとした手助け』をする

♡認知症を正しく理解し、
認知症の人やその家族を
温かく見守り支援する〇〇〇

講座を受けませんか?

認知症サポーター養成講座の開催については、随時相談に応じますので、日向市社会福祉協議会までご連絡ください。なお、講座の開催時間につきましては、全国の規定で1時間30分（最低1時間）の内容になりますので、ご了承の程宜しくお願い致します。

TEL:52-2572 FAX:52-9562 担当:洞尾



物資寄贈の ご協力をお願いします



日向市生活相談・支援センター心から（ここから）では、食糧支援事業（フードバンク）を実施しています。この取り組みは、皆さまのご自宅で眠っている食糧等をご寄贈いただき、いただいた物資を生活困窮世帯へ無償で提供するものです。

これまでにご提供いただいた物資の活用実績は13件（平成27年5月～7月）です。今後も多くの方々が食糧支援事業（フードバンク）で支えられていくことと思います。引き続き皆さまのご協力をお持ちしております。

【今回提供いただきたい物資】

- ◎食料品
 - ・缶詰
 - ・即席ラーメン、カップラーメン
 - ・レトルト食品
 - ◎日用品
 - ・洗剤
 - ・石鹸、シャンプー、リンス
- ※上記以外の物資寄贈を希望される場合はご相談ください。

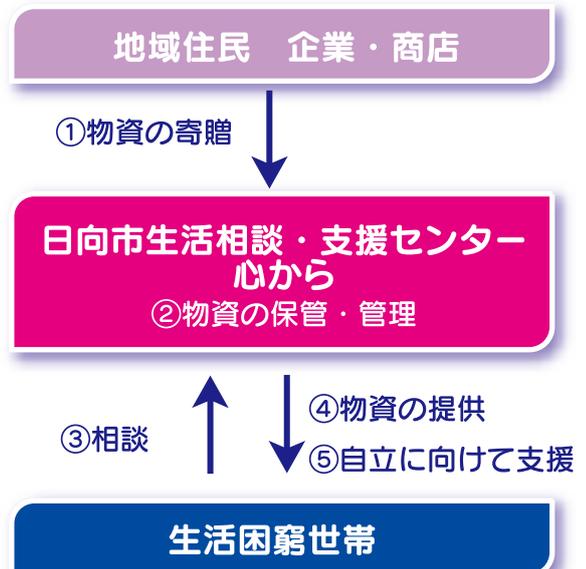
—注意事項—

- ※賞味期限が明記されているもの。
- ※常温保存が可能で賞味期限が1ヶ月以上あるもの。
- ※未開封であるもの。
- ※物資の状態などによってはお断りする場合があります。

—お願い—

- ※大変申し訳ありませんが、今回お米は大量にある為
ご遠慮下さい。

支援の流れ



福祉教育プログラム1

「ふくして
なんだろう？」

6月11日(木)

いのち、くらし、よりよく…



ふだんのくらしを
しあわせにする

【福祉のイメージは?】

【私は…】

【あなたの大切なものは…】

【子どもインタビューの回答】 ※一部抜粋

第1回の学びの終了後に、子どもが身近な大人に福祉について、インタビューをした回答です。

- ※障がい者やお年寄りをサポートすること。
- ※体の不自由な人とかを助けたり手伝ったりする仕事。
- ※弱者を救済すること。
- ※ボランティア、高齢者のお手伝い。
- ※しあわせをみんなに与える。
- ※助け合いを行う社会の仕組みや考え方。
- ※国や県、市町村が障がい者や生活に困っている人、お年寄りなどに対して助けてくれる制度。
- ※私のイメージは、「人を幸せにする」とか、「人を助ける」とかです。だから聞かれたら、『人を大切にすることです』と答えます。
- ※お互い助けあうこと、自分の持っている物を分け合う。
- ※人のために自分ができることをすること。
- ※みんなで助け合って、みんなの幸せを考えること。
- ※真心を込めた活動。

福祉教育プログラム2

地域を知ろう!
「作戦会議」

6月15日(月)

地域調査の
大切な視点



地域調査隊 作戦会議中

私たちの暮らす地域の
仮説を立てる

福祉教育プログラム3

地域を知ろう!
「地域調査隊」

6月29日(月) 30日(火)

7月2日(木)

カベに落書きが…

民生委員さんへ



区長さんのお話

今、どこ??

地域

放置自転車が…

…ゴミが散乱!

【お話をきかせてください】

【子どもインタビューの回答】 ※一部抜粋

- ※暮らしている地域に土石流が心配されるところがあった。
- ※地域の中に、カーブミラーのない所や空き家があり、小さい子どもが遊んだ。
- ※自転車が3台捨てられていた。ゴミもたくさん落ちていた。ポイ捨てが多い。
- ※道路に段差があり、車いす(電動)では登れない人がいた。
- ※僕たちの地域には坂がたくさんあるので、高齢者の人には悪いんじゃないか。
- ※地域の行事に参加している人の数が年々減ってきているということ。
- ※今のところ困っていることはないが、近所の方とあまりふれ合うことがない。
- ※道路の止まれと書いているところが消えていたことに気が付きました。
- ※インタビューで暮らしを幸せにするには、近所の人と仲良くすると言う人が多かった。
- ※子どもがたくさんいることが、地域の良い所なんだあと知った。
- ※民生委員はお年寄りから子どもまで、全ての人の相談にのる人の集まり。
- ※私たちの住んでいる地域は山を削って作られた地域ということに驚きました。
- ※人を傷つけずにやさしくして、人が人を強くできるような人になりなさいと先生に言われうれしくなった。
- ※防災ダムや高い避難通路を見つけたので、安心しました。
- ※高齢者施設の人が高齢者や障がい者とふれあい交流をしてほしいと言っていました。
- ※高齢者や体が不自由な人々の支援の「つなぎ役」になる人がいることを知りました。
- ※地域の人は、畑で育った野菜などを分け合ったりしてとても仲良くしています。
- ※昔から地域に暮らしている人たちだからこそ、私たちが知らないことを学びました。



ゴミ出しのルールが…

道路に穴が…

交番の人にインタビュー

【地域のいいところは?】

福祉施設の人にインタビュー

区長さんから
地域のことを学ぶ

新たな挑戦! 大王谷学園初等部 福祉教育プログラム

学校+地域+福祉教育=地域で共に幸せに生きる

大王谷学園初等部(6年生)と日向市社会福祉協議会の協働企画として、総合学習を活用したこれまでにない福祉教育プログラムの実践に取り組みました。大王谷学園初等部では、地域教育の研究を行っており、目標の一つとして大王谷の未来を担う「地域人」を育てたいと考えています。

この福祉教育の実践は、気づく力(感じる力)、考える力、行動する力を育て、一人ひとりの可能性を広げることを目的としています。具体的には、児童一人ひとりの力、気づく力、感じる力、考える力、行動する力、続ける力、伝える力、カタチに高めることを目標に、連続性、継続性のある福祉教育プログラムの実践を目指しています。児童は、これまでの6回のプログラムで、地域の福祉課題を解決するための「アクションプランシート」の作成を行いました。これから2学期以降のプログラムの実践に取り組む予定です。

福祉教育プログラム4

地域を知ろう！ 「地域診断書」

7月7日(火)

気づきの確認
診断書の作り方

地域の特別ゲスト
区長、民生委員のみなさん

区長さんからの
新たな情報提供

民生委員さんからの
新たな情報提供

気づいたことを地域マップに記入

地域診断書作成

地域診断書作成

地域診断書完成

グループ発表

地域調査を基に、自分たちが暮らしている地域の診断を行いました。当日は地域の“特別ゲスト”として、大王谷学園校区内の区長や民生委員児童委員の皆様の参加をいただき、一緒に地域の良いところ、改善が必要なところを話し合い、地域診断書を作成しました。

24グループの“地域診断書”が出来上がりました。



仮説を立て、地域を歩いて調査し、自分たちが暮らしている地域の実態を知る。そして地域を“見える化”する
「私たちの暮らしている地域は…」

福祉教育プログラム5

支え合い模擬訓練！ 「こんなときどうする？」

7月10日(金)

ゲストティーチャー

大王谷包括職員
池田美希

こんなときどうする？

支え方は人それぞれ…

できることも人それぞれ…

気づく
考える
行動する

プログラム5は、地域で暮らしている高齢者の生活実態を理解し、自分たちができることを考え、実践することを目標に模擬訓練「こんなときどうする？」を実施しました。

こんなときどうするpart1 「押し車」

階段を上がれないおばあちゃんがいたらどうする？

こんなときどうするpart2 「ゴミだし」

ゴミの日じゃない日にゴミを出そうとしている

おばあちゃん、しかも分別できていない！どうする？

こんなときどうするpart3 「一人暮らし高齢者の日常」

一人でさびしくご飯、オレオレ詐欺にあいそうな

おばあちゃんどうする？

福祉教育プログラム6

私たちにできること！ 「子ども支援会議」

7月15日(水)

地域をシェアするために…

支援会議中

アクションプランシートの作成

グループ発表

私たちにできることは…

プログラム6は、一学期の学びの集大成として、「地域に暮らす住民のふだんのくらしをシェアするために、私たちがやりたい福祉活動」をテーマに、地域の福祉生活課題を解決するためのアクションプラン（子ども福祉活動計画）を作成しました。

大王谷学園初等部
福祉教育プログラムは

地域の困りごとは？
理想の結果は？ どうしたい！
困りごとの原因・理由は？
理想の結果にするために、
私たちが何ができる？
どんな福祉活動をする？

つづく
to be continued...

はばたけ!!実習生!!



日向市社会福祉協議会では毎年、大学生や専門学校生を実習生として受け入れ、机上では学べない、現場の雰囲気などを学ぶ時間を提供しています。

今回は、宮崎福祉医療カレッジ社会福祉学科より国延明充（くにのべあきみつ）さんが約1か月間（8月3日～9月3日）の実習に来られました。

社会福祉協議会の各係の業務や事業、地域の方とのふれあいなど、机上では学べない現場の雰囲気を学びました。

Q. この実習を通して学んだことは何ですか？

A. 社会福祉協議会で実習させていただき、利用者様や地域住民の方と積極的に関わり、コミュニケーションを取ることでよりよい相談援助や地域支援が実施できることがわかりました。

今回の学びをこれからの人生や、就職した際に活かしていきます。

実習期間中関わっていただいた社協職員および地域住民のみさま、ありがとうございました!!

まちづくりに興味のある方募集!!



10月10日（土）11日（日）に行われる日向十五夜祭の、準備や運営に協力して下さるボランティアさんを募集しています。

今年度は、子どもから高齢者まで地域の誰もが参加でき、楽しめる祭りにできるよう準備を進めています。

まちづくりに興味のある方、何か市民のために力を使いたいと考えている方、ぜひご協力ください。 伝統ある祭りを一緒に盛り上げていきましょう。

ご協力いただけるという方につきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

〔連絡先〕
日向市十五夜祭奉賛会 事務局：日向商工会議所
TEL：51-5131 担当（黒木、野口）



ボラセン担当者のつぶやき

社会福祉協議会の目指すボランティアとは？

ボランティアとは、一般的に、自主的に無償で社会活動などに参加し、奉仕活動をする人のことを指します。ボランティアには様々なものがあり、地域の清掃作業やイベント、行事の企画運営のお手伝いなど、自分の力を使って人のために“楽しみながら”奉仕をするなど活動の幅は非常に広いです。

そういった中で、現代社会では様々な地域社会の問題などが表面化してきており、個別支援（個人を支える）ボランティアも必要になってきています。



地域で起こっている問題

地域の見守り、地域の困りごとを抱えている方の小さなサポートなど、ボランティアが地域を支え、人と人とのつながりをつくり、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることができます。

日向市社会福祉協議会のボランティアセンターは、そういった個人を支えるボランティアを募集しています。誰かのために力を使いたい、得意なことを誰かのために活かしたいという方はぜひ、ボランティアセンターにお問い合わせください。

行ってなよう!!「あなたらしさ」の出会いのフェスタ

2015

日向市ふれあいフェスタ開催!!

「日向市ふれあいフェスタ」は、毎年日向市の福祉のお祭りとして、障がいのある人もない人も同じ市民としてつどい、ふれあい、理解を深めることにより地域福祉の増進を図ることを目的として実施しています。障がいへの理解や障がいのある方でも安心して暮らせる地域について共に考えましょう。多くの参加をお待ちしています。

日時：平成27年9月13日（日） 10:00～15:00
場所：日向市文化交流センター・日向市中央公民館

いろんなコーナーがあるよ!

〔お問合せ〕
日向市障がい者センター「あいとぴあ」内
TEL:52-5434

じどろかん・センターたより

指定管理者として、日向市から管理を受託して事業運営を行っています。

児童館 児童センター-BIGイベント

10月3日(土) 『児童センターまつり』

時間 13:00~15:30 場所 日知屋児童センター
ストラックアウトにくじびき、スーパーボールすくいなど、楽しいゲームコーナーが盛りだくさん!!お友達を誘って遊びにきてね!
♡ 入場チケット・・・小学生 (300円) 未就学児 (200円)



※児童センターまつりは当日に入場チケットを買って参加できます!多くの参加をお待ちしています!!

日知屋児童センターからのお知らせ

電話 52-8443(担当:柏田)

9月5日(土) 小学生・幼児親子『世代間交流』

☆地域のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に頭を使うゲームや体を使うゲームにチャレンジしよう!!おじいちゃん、おばあちゃんも負けていられません!!

時間 10:00~11:30
場所 日知屋児童センター
申込締切 9月1日(火)



9月12日(土) 小学生『お茶を楽しもう』

☆日本に伝わるおもてなしの心を感じてみませんか?心静かに、本格的なお茶の作法を教えてくださいよ!

時間 14:00~15:30
場所 日知屋公民館 和室
申込締切 9月5日(土)



大王谷児童館からのお知らせ

電話 50-1117(担当:幸崎)

9月17日(木)
『ちびっこ運動会』(幼児親子)

☆ミニミニ運動会!!親子で元気に体を動かしましょう♪

※動きやすい服装でお越しください(^ ^)

時間: 10:30~11:30
締切: 親子で20組になり次第
締め切ります。



9月19日(土)
『楽しいお茶会』(小学生)

☆お茶の作法を楽しく学びましょう!

時間: 14:00~15:30
締切: 9月17日(木)



夏休みの思い出



水遊び 最高!!

7月30日(木)、31日(金)に大王谷児童館の外にプールを設置し、水遊びをしました!!

暑い中プールで水遊びをして、涼しくなったところで、スイカ割りをして、みんなで食べました。夏休みのいい思い出になったね!!

コミュニティカフェに参加したぞ!!

8月18日(火)大王谷のながむら内科循環器内科にて行われたコミュニティカフェ「ながむらさんの家」に大王谷児童館から7名の児童が参加しました!!

参加された方から昔の道具について教えてもらったり、子どもたちからクイズやダンスを披露するなど、大変盛り上がりました。「今度会ったら声をかけてね!!」といった温かい会話も見られました!!



発見！ 地域人!! part3



「ボランティア活動は楽しいです！」



東郷町羽坂区の藤井裕美さん(39)は今年の春、ご結婚を機に東郷町に転入して来られました。以前からボランティア活動をされていたということで、社協東郷支所をご自分から訪ねて来て下さいました。

羽坂区のいきいきサロン「井戸ばた会」の方がボランティアさんを要望しておられたので、活動をお願いしたところ、早速サロンに参加され、会員の皆さんにもとても喜ば

れていました。「牧水の里の夏祭り」前日にも、道の駅周辺の草刈りにも参加されるなど、積極的にボランティア活動に取り組んでおられます。

ボランティア活動は「たくさんの人と知り合えてとても楽しい！」とおっしゃる藤井さん。

これからもボランティア活動を楽しみながら、地域の役に立てたら嬉しいと語る藤井さんの笑顔が、とても素敵でした！



安全で安心な住みよいまちづくりのため 区(自治会)に加入しませんか？

区(自治会)とは、地域に住んでいる人たちが、さまざまな活動を通してお互いを助け合う組織のことです。地域でのふれあいの輪を広げ、お互いに助け合うことで、共同意識を高めるなど大きな役割を果たしています。

区(自治会)では主な活動として

- ①安全で安心なまちづくり
- ②地域全体で子どもたちや高齢者を支え合う活動
- ③地域情報の伝達発信
- ④地域の環境美化活動
- ⑤住民同士のつながりを深める活動を行っています。

「区に加入したい」、「区について知りたい」という方は、日向市地域コミュニティ課市民協働係(52-2111(内線6251))までお問い合わせ下さい。



日向市区長公民館長連合会
会長 沖田 實美

区(自治会)は、地域で暮らす住民が親睦を深め、互いに助け合い、子どもや高齢者をはじめ、誰もが安全で安心して心楽しく暮らせる魅力あるまちづくりを目指して活動しています。そのために地域に住む皆さんの区(自治会)への加入促進活動を展開しております。

また、区(自治会)では、日向市社会福祉協議会と連携し、地域住民の暮らしを良くするため地域福祉活動を支援しています。超高齢社会の中で、住民の方が安心して暮らしていくため、各区(自治会)に**福祉部**の設置を推進しています。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成27年7月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
黒木 米子	黒木 春美	鶴野内
甲斐 チヨ子	岩田 艶子	向江町
山口 浩二	山口 聖美	大王谷
赤木 和代	赤木 元幸	松原
桑原 訓子	桑原 デン	仲深
川添 行雄	川添 アキエ	堀一方
大堀 悦子	大堀 保也	笹野西
山崎 優	山崎 節子	新財市
山田 年雄	山田 レイ子	鶴野内
壹岐 三船	壹岐 常市	中村
興 梶 ツル子	興 梶 清	比良

社協日記

日向市社会福祉協議会は、日向市が誕生した昭和26年に設立されました。設立当初は、会長みの体制で社協の職員はいなかったため、市福祉事務所長が社協事務局長を兼務し社協業務を統括していました。

当時、福祉事務所庶務係長を経験された方によると、その頃の社協業務は共同募金や歳末助け合い運動が主だったそうです。募金活動等の計画立案は、庶務係長が行い、街頭募金等は福祉事務所職員が民生委員児童委員さんの協力のもと実施していました。

初代社協会長を務められた渡辺義久さんは、医師、市議会議員、消防団などの忙しい業務の合間を縫って、社協業務を市の福祉事務所と連携して実施し、市民福祉の向上に努めながら今日の社協の礎を築かれました。

社協は、昭和40年に社会福祉法人としての認可を受けました。したがって、今年度は社協が発足してから64年、社会福祉法人となってから50年目を迎えました。この間に、社会経済状況や福祉制度等は、大きく変わりましたが、社協の目的である「地域福祉の推進を図る」ということは、社協が発足した当時から同じです。少子超高齢社会が進展していく中で、社協の役割は益々大きくなると考えています。社協は、今後も関係者の皆さんと連携し市民福祉の向上に努めてまいります。市民の皆さんの温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(ひこびー)

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

さいちゃん



ひまたん〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

